

東成区の概要



〔八王子神社御旅所の樹齢 1300 年の楠〕

平成 2 9 年 1 2 月

東成区役所総務課総合企画担当

目 次

1. 東成区の概況	P.	1
2. 統計データ		
(1) 人口に関するデータ	P.	3
(2) 産業に関するデータ	P.	7
(3) 子どもに関するデータ	P.	9
(4) 健康に関するデータ	P.	12
(5) 障がい者に関するデータ	P.	12
(6) 高齢者に関するデータ	P.	13
(7) 事件・事故等に関するデータ	P.	14
(8) 災害に関するデータ	P.	15
(9) 空家に関するデータ	P.	16

東成区ってどういうところ!?

安心!	自宅より最寄り医療機関までの距離 <small>※内科・外科または小児科のいずれかを含む常設の病院等</small> 250m未満にある世帯…全世帯のうち 100%	第1位 市内24区中
楽々!	自宅より最寄りの交通機関までの距離 250m未満にある世帯…全世帯のうち 37%	第1位 市内24区中
優しい!	自宅より最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離 250m未満にある世帯…全世帯のうち 86%	第2位 市内24区中
便利!	自宅より最寄りの郵便局、銀行までの距離 100m未満にある世帯…全世帯のうち 25%	第2位 市内24区中
安全!	自宅より緊急避難場所までの距離 250m未満にある世帯…全世帯のうち 86%	第9位 市内24区中

(平成25年 住宅・土地統計調査)

1. 東成区の概況

東成区は大阪市の東部に位置し、北は城東区、東は東大阪市、南は生野区、西は中央区・天王寺区と接しています。

区域面積は 4.54 平方キロメートルで、市内の 24 区中 23 位にあたります。

人口は昭和 35 年をピークに年々減少していますが、平成 11 年を最低に、近年は微増傾向にあります。一方、平成 29 年 11 月 1 日推計人口では 65 歳以上の年齢層が全人口の 26% であり、市内第 11 位の高齢化率となっています。



主要道路の集まる今里交差点（通称：今里ロータリー）は、区のほぼ中心に位置し、区役所をはじめ、官公署、金融機関等が数多く集まり、区の発展の拠点となっています。交通機関は地下鉄が東西に 2 本、南北に 1 本、さらに西端に JR 環状線、南端に近鉄線も通っており、区内いずれの場所からでも比較的に駅が近く、交通網が充実しています。

東成区は都市計画策定前にすでに市街化が進んでいた関係もあり、旧市街地では木造家屋が密集し、細街路が錯綜する地区が多くあります。平成 29 年 4 月 1 日時点、公園は区内に 23 カ所、面積は 84,680 m² であり、区民 1 人当たりの公園面積は 1.04 m² と市平均の 3.03 m² より狭いことから、みどりあふれる快適な生活環境整備が望まれています。

日本有数のモノづくり企業が集積する東大阪市と隣接し、区内東部を中心に「モノづくり」企業（製造業）が多いことは区の特色です。歴史や文化を感じる地域資源も多くあり、地域でのつながりづくりを育む地域行事やイベントも活発に開催されています。

	東成区のデータ	24 区中の順位	出典
面積	4.54km ²	23 位	平成 29 年 11 月 1 日推計人口
人口	81,971 人	18 位	平成 29 年 11 月 1 日推計人口
世帯数	41,848 世帯	19 位	平成 29 年 11 月 1 日推計人口
人口密度	18,055 人/km ²	4 位	平成 29 年 11 月 1 日推計人口
高齢化率	25.8%	14 位	平成 29 年 11 月 1 日推計人口
外国人登録人口	6,885 人	6 位	平成 28 年 12 月末市民局調べ
事業所数	5,065 事業所	18 位	平成 26 年経済センサス
従業員数	41,732 人	21 位	平成 26 年経済センサス

● 区の花



バラ



パンジー

● 区のキャラクター



うりちゃん



ルカちゃん



かさずきん

☆**うりちゃん** は玉造黒門越瓜（たまつくりくろもんしろり）をもとに誕生しました。玉造あたりにかつて「黒門」と呼ばれる大阪城玉造門があり、そのあたりで粘漬けなどにして販売されていた瓜が美味しかったことから「玉造黒門越瓜」と呼ばれ、なにわの名産の一つとなりました。

☆**かさずきん** は区の花のパンジーを持ち、深江の菅笠をかぶっています。江戸時代にお伊勢参りがブームとなり、暗越奈良街道（くらがりごえならかいどう）を旅する人々は、道中の安全を願って深江で菅笠を買い求めたそうです。

☆**ルカちゃん** は区にゆかりのある鶴の橋、亀の橋にちなみ、鶴と亀を組み合わせています。名前の由来は「つるかめ」の中央の文字をとり「ルカちゃん」と呼んでいます。



玉造黒門越瓜



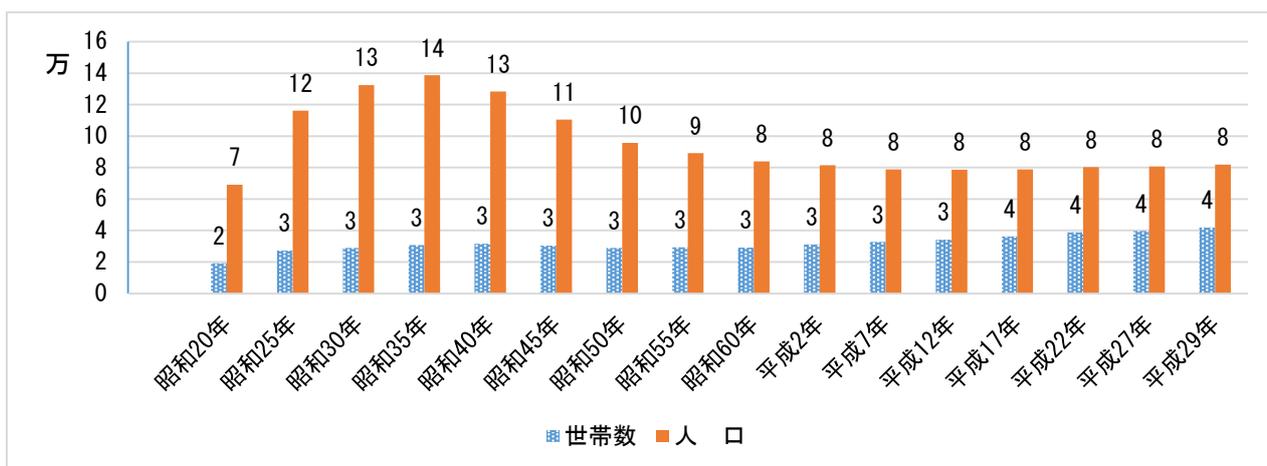
深江の菅笠

2. 統計データ

(1) 人口に関するデータ

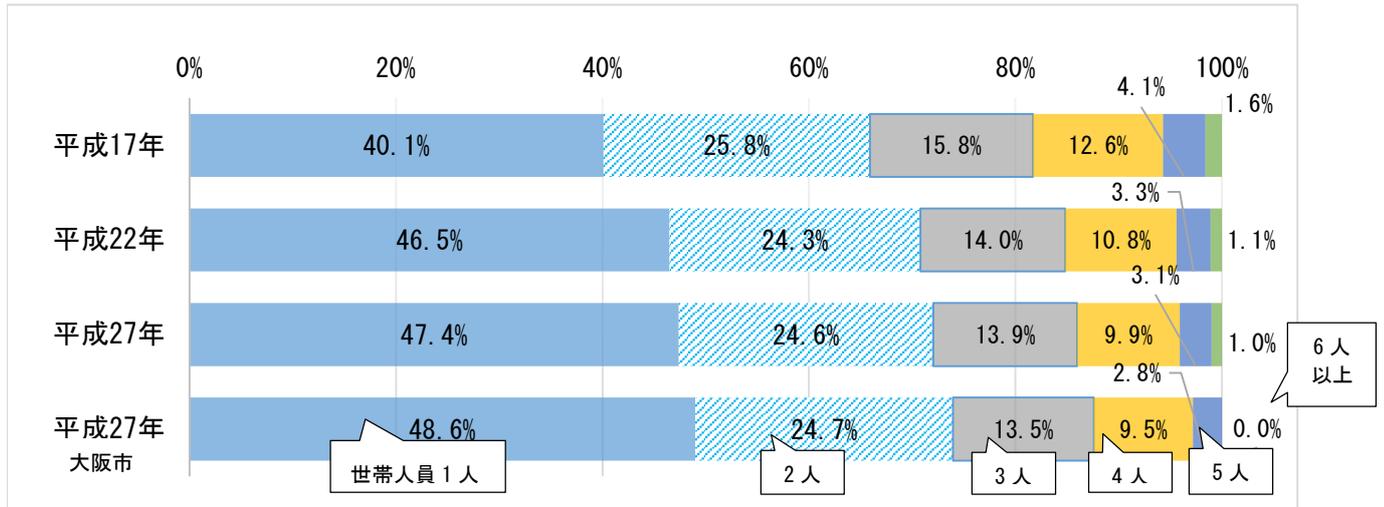
● 人口・世帯数の推移

	世帯数	人 口			1世帯当 たり人員	調査名
		総数	男	女		
昭和 20 年	19,270	69,029	34,535	34,494	3.58	人口調査
昭和 25 年	27,300	116,129	58,031	58,098	4.25	国勢調査
昭和 30 年	28,973	132,430	67,395	65,035	4.57	国勢調査
昭和 35 年	30,786	138,635	72,468	66,167	4.50	国勢調査
昭和 40 年	31,590	128,403	65,470	62,933	4.07	国勢調査
昭和 45 年	30,333	110,465	54,935	55,530	3.64	国勢調査
昭和 50 年	28,969	95,600	46,630	48,970	3.30	国勢調査
昭和 55 年	29,407	89,138	43,095	46,043	3.03	国勢調査
昭和 60 年	29,200	83,897	40,319	43,578	2.87	国勢調査
平成 2 年	31,117	81,380	39,026	42,354	2.62	国勢調査
平成 7 年	32,759	78,736	37,725	41,011	2.40	国勢調査
平成 12 年	34,254	78,580	37,738	40,842	2.29	国勢調査
平成 17 年	36,304	78,929	37,542	41,387	2.17	国勢調査
平成 22 年	38,920	80,231	38,410	41,821	2.06	国勢調査
平成 27 年	39,683	80,563	38,547	42,016	2.03	国勢調査
平成 29 年	41,848	81,971	39,191	42,780	1.96	推計人口 (H29 . 11. 1)



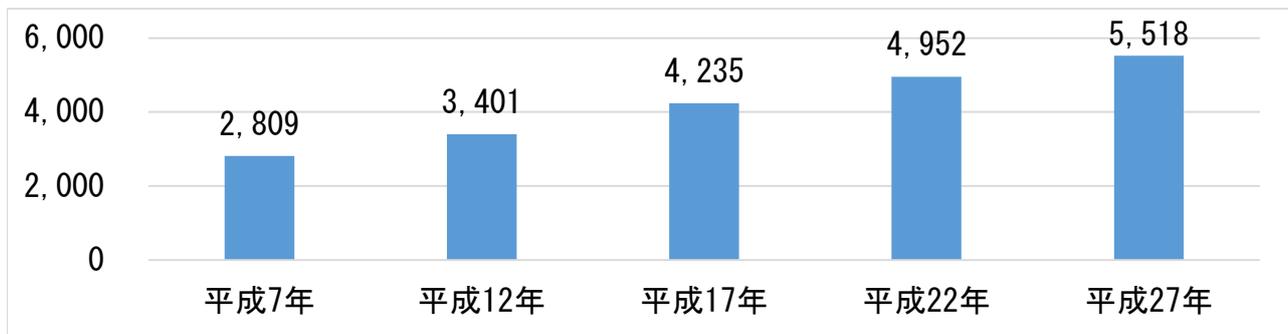
人口は昭和 35 年をピークとして減少傾向が続いていましたが、平成 7 年以降は横ばいから微増傾向にあります。一方、1 世帯あたり人員は年々減少しているため、世帯数は昭和 60 年以降、増加傾向にあります。

● 世帯状況（世帯人員別）



平成27年国勢調査
(世帯)

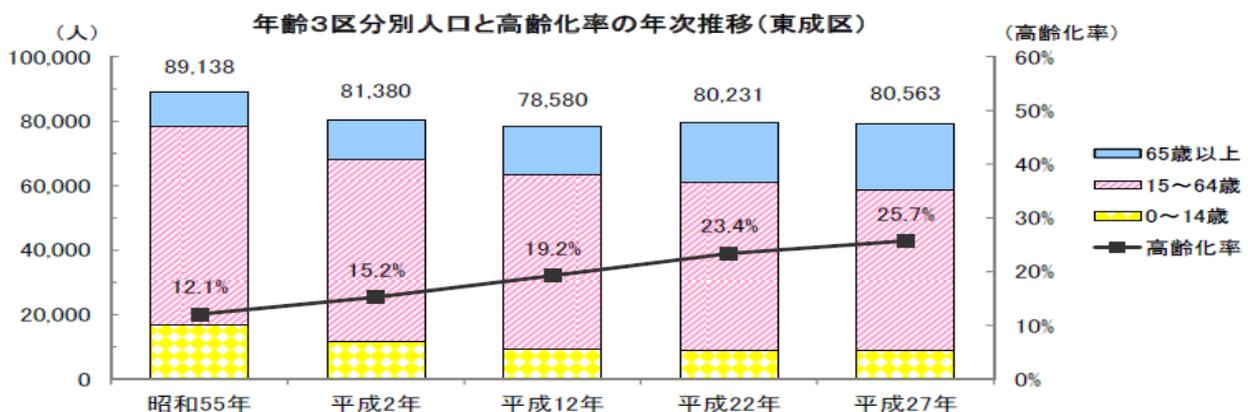
● 65歳以上の高齢単身者世帯数の推移



「国勢調査」

65歳以上の高齢単身者世帯は、平成22年の4,952世帯から平成27年には5,518世帯となっており、増加率は11.4%です。大阪市全体の増加率13.6%に比べると少ないものの、確実に増加傾向にあります。

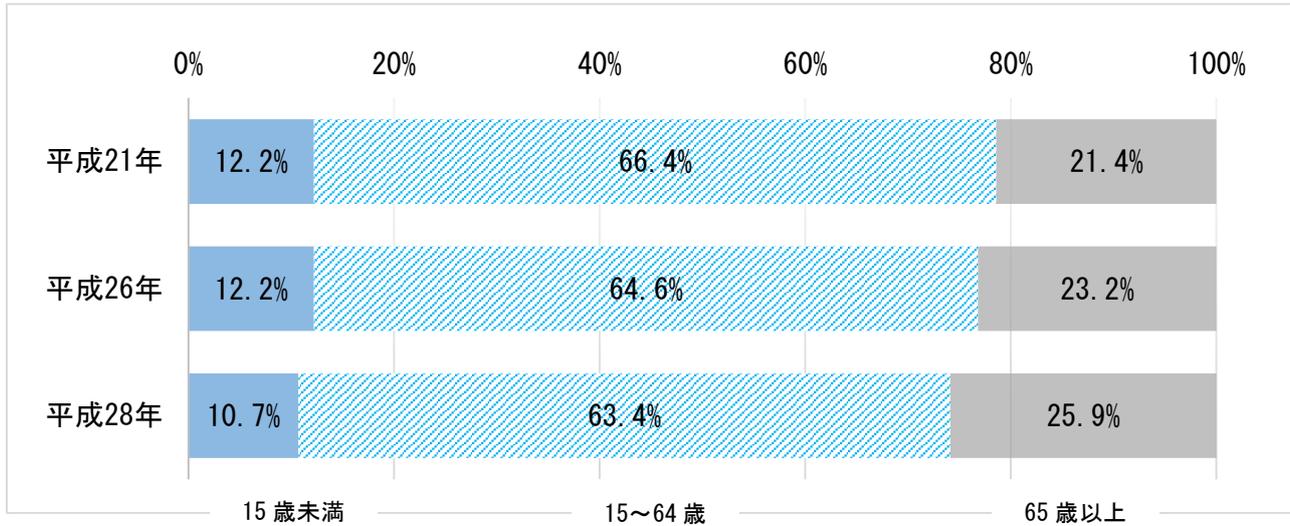
● 人口及び高齢化率の推移



「健康局」

65歳以上の区民の割合は、23.4%（平成22年）から5年間で25.7%（平成27年）に増加しています。

● 年齢階級別人口構成比率（各年度末現在） (％)

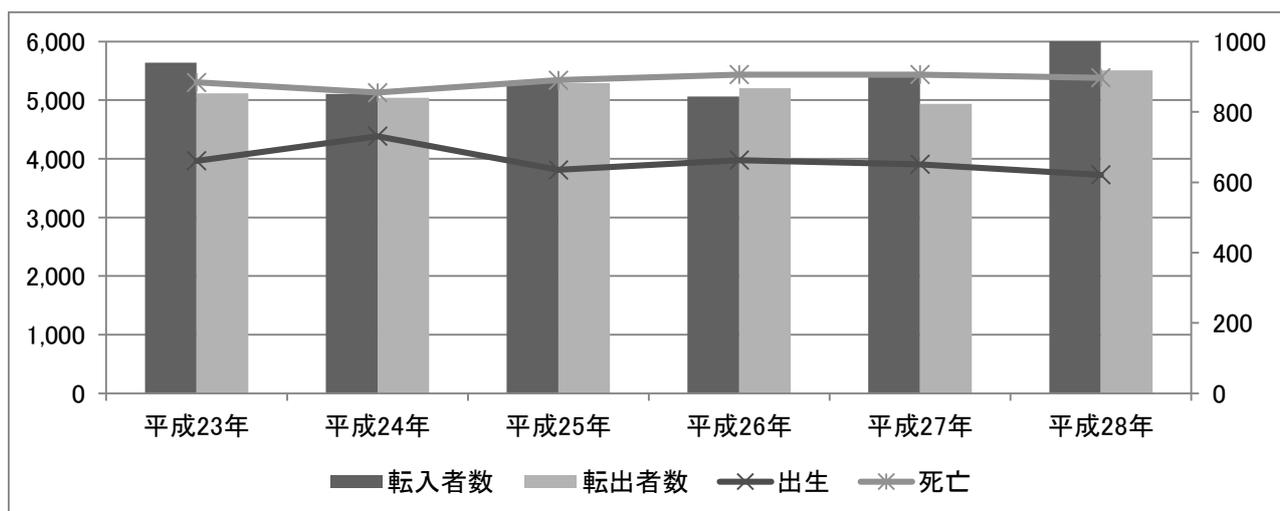


「住民基本台帳人口」

平成21年度と平成28年度を比較すると、15歳未満の割合は1.5ポイントの減少、15～64歳の割合は3.0ポイントの減少ですが、65歳以上の割合は4.5ポイント増加していることから、区内でも高齢化が進んでいることがわかります。

● 人口動態（各年度末現在） (人)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
転入者数	5,638	5,108	5,301	5,062	5,433	7,111
転出者数	5,117	5,042	5,291	5,205	4,939	5,510
出生	661	731	635	663	651	621
死亡	884	855	890	906	906	897

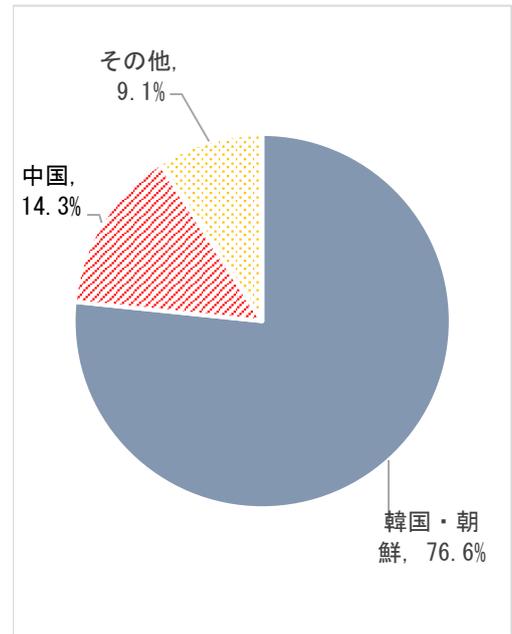


「住民基本台帳月報」

出生率と死亡率から東成区の人口自然減少が続いている中、平成24年までは転入者数が転出者数を上回っていました。平成26年には転出者数が上回り逆転しましたが、ここ数年は再び転入者数が増加に転じています。

● 外国人住民人口（平成 28 年 12 月末現在）

国名	東成区		大阪市	
	人	%	人	%
韓国・朝鮮	5,277	76.6%	69,083	55.1%
中国	982	14.3%	33,946	27.1%
ベトナム	259	3.8%	7,481	6.0%
フィリピン	64	0.9%	3,400	2.7%
米国	42	0.6%	1,432	1.1%
ネパール	28	0.4%	1,126	0.9%
その他	233	3.4%	8,975	7.2%
合計	6,885	100.0%	125,443	100.0%



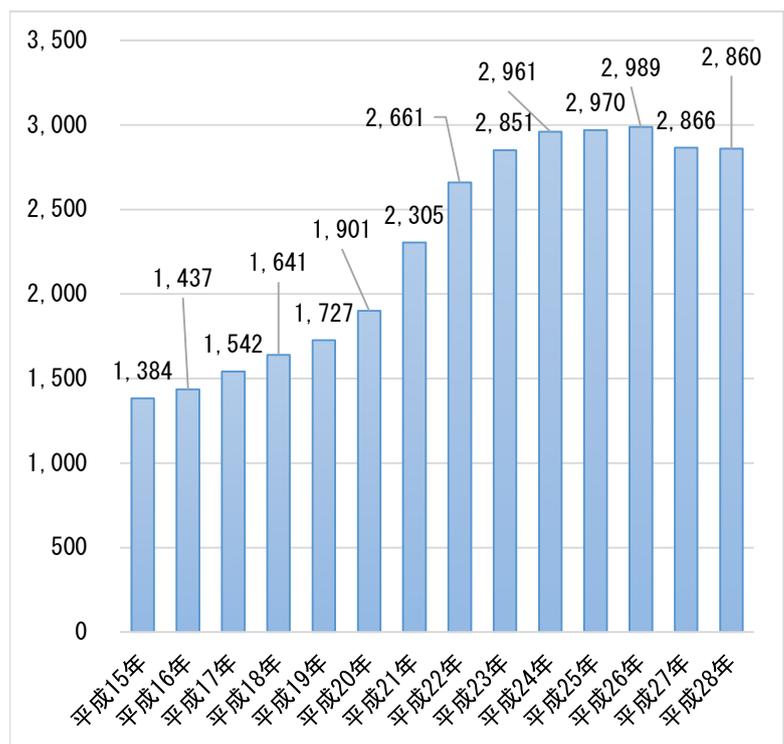
市民局

東成区の外国人住民人口は 6,885 人で、生野区、平野区、西成区、浪速区、中央区に次いで 6 番目に多い区です。区内人口に占める外国人住民の割合は 8.5% で、生野区、浪速区に次いで 3 番目に高い割合となります。

国籍別で見ると、韓国・朝鮮国籍の割合は 76.6% であり、生野区の 84.3% に次いで 2 番目に高い割合となります。

● 保護世帯推移（各年度末現在）（人）

	東成区	大阪市
平成 15 年	1,384	73,160
平成 16 年	1,437	78,123
平成 17 年	1,542	81,498
平成 18 年	1,641	84,525
平成 19 年	1,727	87,427
平成 20 年	1,901	94,004
平成 21 年	2,305	108,690
平成 22 年	2,661	115,772
平成 23 年	2,851	118,188
平成 24 年	2,961	118,453
平成 25 年	2,970	117,847
平成 26 年	2,989	116,416
平成 27 年	2,866	114,997
平成 28 年	2,860	114,318



保健福祉課

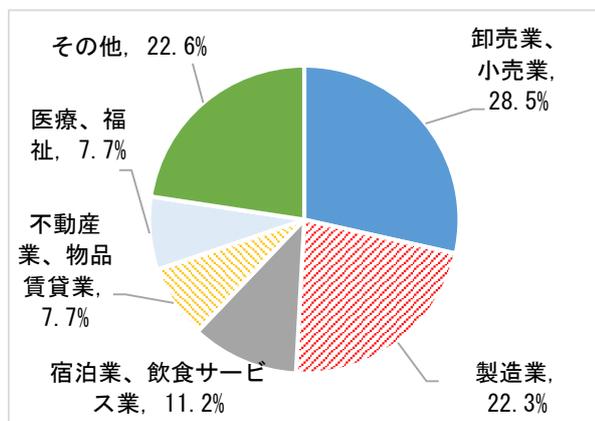
(2) 産業に関するデータ

● 産業別事業所数・従業員数

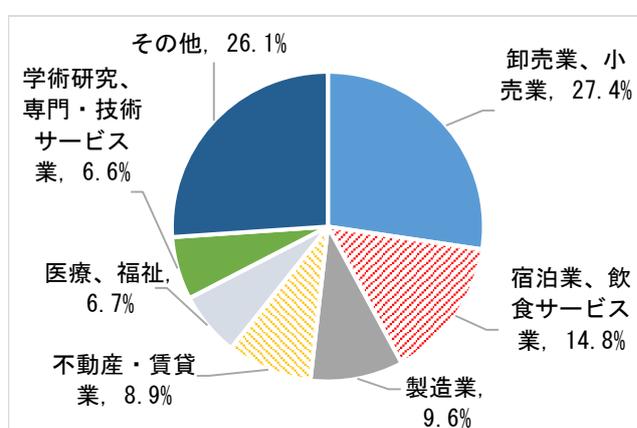
産業大分類	東成区		大阪市	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
全産業	5,065	41,732	191,854	2,354,657
農業、林業	1	10	56	548
漁業	-	-	1	7
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	9	36
建設業	199	1,384	9,431	124,385
製造業	1,131	9,532	18,467	228,246
電気・ガス・熱供給・水道業	1	21	102	11,321
情報通信業	42	189	4,895	132,822
運輸業、郵便業	65	1,039	4,513	114,431
卸売業、小売業	1,445	9,952	52,474	546,629
金融業、保険業	51	718	3,111	83,751
不動産業、物品賃貸業	389	1,640	17,001	86,610
学術研究、専門・技術サービス業	155	1,118	12,593	102,810
宿泊業、飲食サービス業	568	2,598	28,429	224,307
生活関連サービス、娯楽業	288	1,314	11,739	84,645
教育、学習支援業	96	1,023	4,369	71,855
医療、福祉	388	6,772	12,860	208,945
複合サービス事業	15	281	453	12,337
サービス業（他に分類されないもの）	225	3,605	11,048	272,468
公務（他に分類されるものを除く）	6	586	303	48,504

「平成 26 年経済センサス基礎調査」

＜産業大分類別事業所数上位 4 位＞



＜産業大分類別従業者数上位 4 位＞



産業大分類別にみると、事業所数、従業者数ともに「卸売業、小売業」、「製造業」が多く、この2産業で事業所数は5割を超え、従業者数は4割弱となっています。

<事業所数（上位5区）>

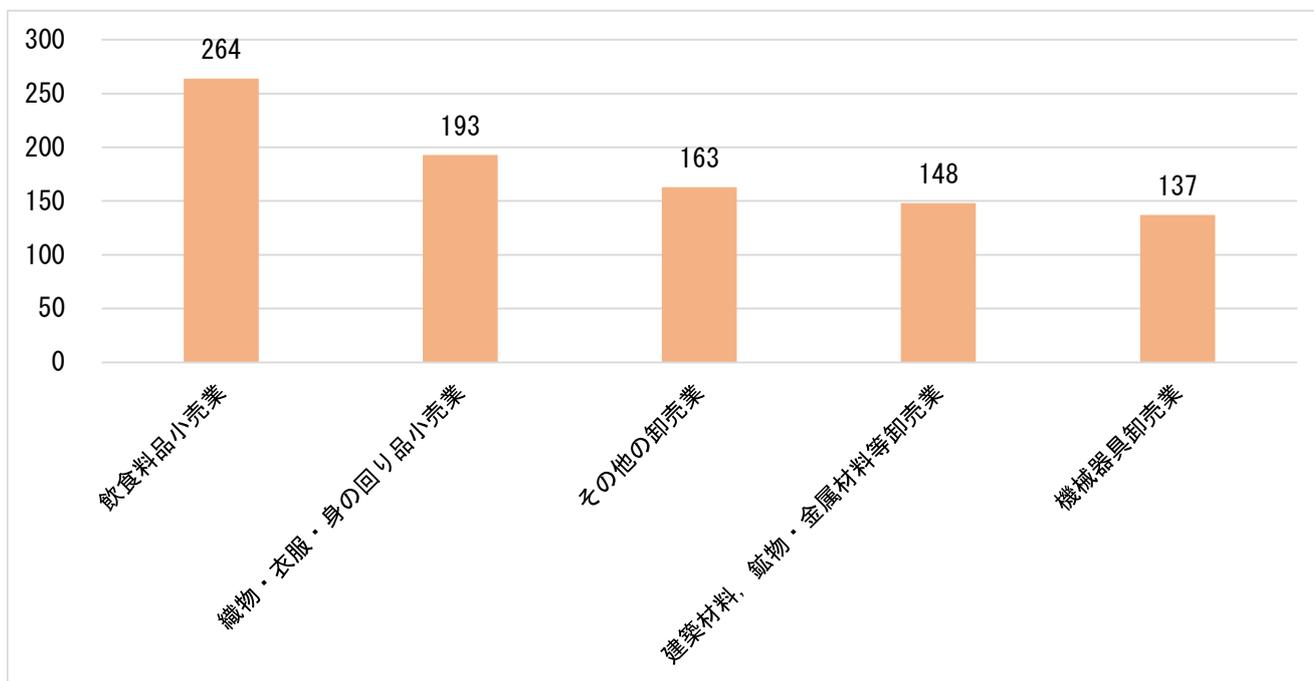
（事業所）

製造業	総数	1位	2位	3位	4位	5位
		生野区	平野区	中央区	淀川区	東成区
	18,467	2,106	1,972	1,295	1,190	1,131
	100%	11.4%	10.7%	7.0%	6.4%	6.1%

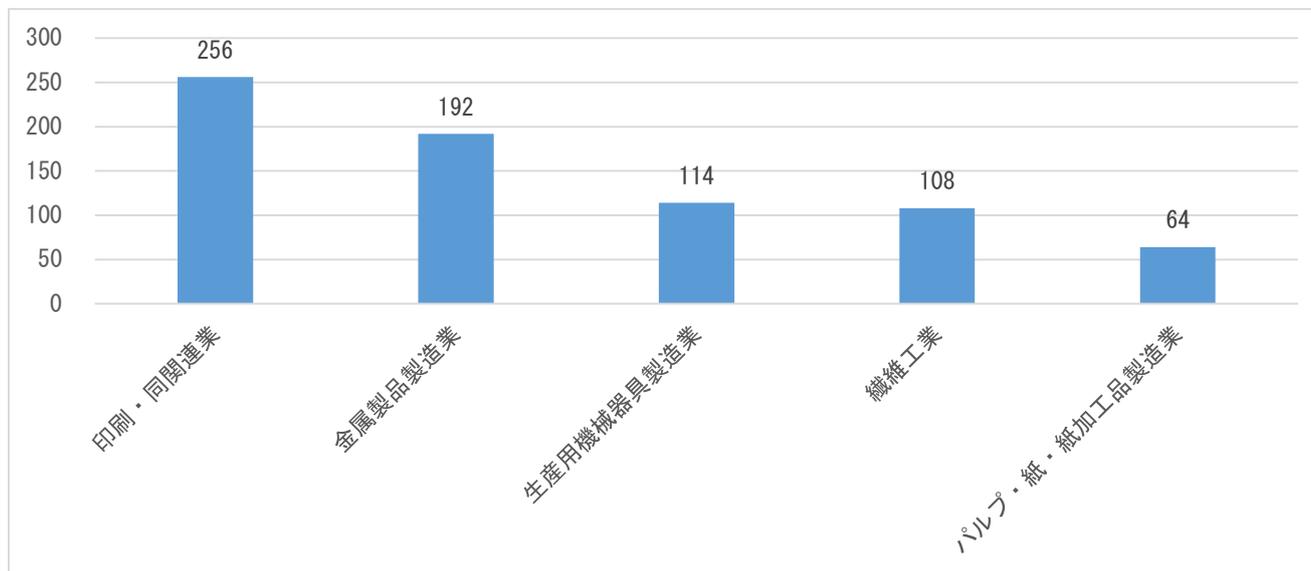
製造業の事業所数は1,131事業所あり、市内全体のうち6.1%を占めています。
市内では生野区、平野区、中央区、淀川区に次いで5番目になります。

東成区の「卸売業、小売業」、「製造業」の内訳を詳しく見ると…

<産業中分類別事業所数上位5位「卸売業、小売業」>



<産業中分類別事業所数上位5位「製造業」>



(3) 子どもに関するデータ

- 待機児童数の推移（各年度4月1日現在） (人)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
東成区	12	0	0	0	0	0
大阪市	664	287	224	217	273	325

こども青少年局

- 待機児童数（平成29年4月1日現在） (人)

	新規利用申込 (保育認定者のみ)	新規利用児童	利用保留	利用保留数の内訳							就学前児童	保育所等在籍児童
				転所希望	育休中	求職活動休止中	一時預かり実施幼稚園	企業主型保育事業	特定保育所希望等	待機児童		
東成区	402	342	60	6	15	22	0	0	17	0	3,602	1,493
大阪市	15,101	12,112	2,989	378	393	438	22	3	325	325	125,693	50,062

こども青少年局

- 各施設・事業別新規利用状況（平成29年4月1日現在）

(人)

保育所	今里保育園	19
	東成山水学園	67
	小市保育園	46
	つみき保育園	26
	第二明の守たまつ保育園	17
	キッズファースト保育園	16
	東小橋保育所	15
	北中本保育所	25
	大成保育所	24
	中本保育所	17
	東中本保育所	25
認定こども園	深江幼稚園	20
小規模A型	東中本みらい保育園	8
小規模A型	新深江ピース保育園	13
小規模C型	アイアイルーム	4
	人数計	342

こども青少年局

● 学校園児童数推移 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

(人)

	学校園名	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
幼稚園	今里	52	45	46	50	47
	中本	37	36	20	-	-
	東小橋	70	70	65	60	69
	北中道	53	56	61	64	67
	東中本	57	56	67	71	67
	計	269	263	259	245	250
小学校	東小橋	168	168	171	168	159
	大成	285	264	249	244	235
	中道	178	194	188	199	182
	北中道	218	220	215	214	213
	中本	228	209	199	218	234
	東中本	513	486	443	425	421
	今里	204	193	197	187	175
	片江	534	527	511	517	506
	神路	454	454	442	433	444
	深江	310	325	301	285	280
	宝栄	494	494	506	506	519
	計	3,586	3,534	3,422	3,396	3,368
中学校	東陽	400	398	399	418	393
	本庄	471	487	470	452	416
	玉津	398	410	398	376	383
	相生	420	424	411	466	459
	計	1,689	1,719	1,678	1,712	1,651

教育委員会

● 学校別学級数（平成 29 年 5 月 1 日現在）

小学校（11 校）

（学級）

小学校	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	特別支援学級
東小橋	1	1	1	1	1	1	6	1
大成	1	2	1	2	2	1	9	2
中道	1	1	1	1	1	1	6	3
北中道	1	1	1	1	2	1	7	4
中本	2	2	1	1	1	1	8	3
東中本	3	2	2	2	2	2	13	4
今里	1	1	1	1	1	1	6	1
片江	3	3	2	2	3	3	16	3
神路	2	3	2	2	3	2	14	3
深江	2	2	2	2	2	2	12	2
宝栄	3	3	3	3	2	2	16	5
計	20	21	17	18	20	17	113	31

中学校（4 校）

（学級）

中学校	1 年	2 年	3 年	合計	特別支援学級
東陽	3	4	4	11	2
本庄	4	4	4	12	3
玉津	4	3	3	10	5
相生	4	4	4	12	4
	15	15	15	45	14

教育委員会

(4) 健康に関するデータ

● 大阪市特定健康診査実績（各年度末現在） (人)

年度	対象者数	受診者数	受診率 (%)
平成 25 年	14,287	2,776	19.4
平成 26 年	13,957	2,935	21.0
平成 27 年	13,584	2,897	21.3

保健福祉課

● がん検診受診実績（各年度末現在） (%)

年度	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
平成 25 年	4.2%	8.6%	6.1%	11.2%	16.5%
平成 26 年	3.5%	9.5%	5.6%	14.3%	19.3%
平成 27 年	3.9%	11.4%	6.2%	15.8%	18.5%
平成 28 年	3.3%	8.6%	5.6%	14.4%	13.8%

保健福祉課

● 感染症の発生状況 (件)

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	1	1	0
感染性胃腸炎(ノロウィルス含む)	56	53	35

保健福祉課

(5) 障がい者に関するデータ

● 精神障がい者保健福祉手帳交付状況 ((平成 28 年度末現在))

	身体障がい者 手帳台帳登録者数	療育手帳 台帳登録者数	精神障がい者保健 福祉手帳所持者数	精神関係医療費 公費負担受給者数
東成区 (対市比)	4,638 人 (3.4%)	717 人 (2.9%)	910 人 (2.9%)	1,713 人 (3.0%)
大阪市	137,414 人	24,958 人	31,637 人	57,497 人

保健福祉課

(6) 高齢者に関するデータ

● 健康・平均寿命（平成 22 年） (歳)

	男		女	
	健康寿命	平均寿命	健康寿命	平均寿命
東成区	78.0	78.4	83.2	85.4
大阪市	76.1	77.4	81.9	85.2
国	78.2	79.6	83.2	86.4

福祉局

● 介護保険 第 1 号被保険者数（各年度末現在）(人)

	東成区	大阪市
平成 25 年	19,883	644,463
平成 26 年	20,349	660,973
平成 27 年	20,617	672,774
平成 28 年	20,857	680,434

福祉局

● 要介護認定者数（平成 28 年度末現在） (人)

	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	計
	1	2	1	2	3	4	5	
東成区	1,245	792	734	815	508	551	479	5,124
大阪市	36,994	25,041	23,564	28,077	19,368	19,197	15,034	167,275

福祉局

● 医療費助成制度（一部負担金助成制度）（平成 28 年度末現在）

	こども医療費 助成制度	ひとり親家庭 医療費助成制度	重度障がい者 医療費助成制度	老人医療費 助成制度
東成区（対市比）	8,409 人(3.0%)	1,668 人(2.6%)	559 人(3.0%)	1,251 人(3.2%)
大阪市	277,039 人	61,440 人	18,564 人	38,977 人

保健福祉課

(7) 事件・事故等に関するデータ

● 東成区内街頭犯罪認知件数

(件)

	ひったくり	路上強盗	自動車盗	車上狙い	部品狙い	オートバイ盗	自転車盗
平成 24 年	16	7	13	138	55	43	348
平成 25 年	19	4	40	226	83	31	391
平成 26 年	20	4	14	200	49	36	454
平成 27 年	18	2	11	153	57	23	466
平成 28 年	12	2	11	207	60	25	427

大阪府警察本部

● 交通事故

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
発生件数	432	436	435
死者数	1	0	2
負傷者数	504	472	521

大阪府警察本部

● 救急活動状況

(件)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
総数	5,325	5,428	5,484	5,599
火災	41	20	16	31
交通	547	488	479	496
一般負傷	790	818	844	895
急病	3,365	3,489	3,479	3,511
それ以外	582	613	666	666

「救急年報」

● 火災発生状況

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
総数(件)	24	15	30
建物(件)	16	14	22
車両(件)	6	0	2
その他(件)	2	1	6
死者(人)	0	0	2
負傷者(人)	5	3	6

「消防年報」

(8) 地震による被害想定状況

● 大阪市全域の被害想定

	上町断層帯	生駒断層帯	有馬高槻断層帯	中央構造線断層帯	東南海・南海地震	南海トラフ巨大地震
マグニチュード(M)	7.5～7.8	7.3～7.7	7.3～7.7	7.7～8.1	7.9～8.6	9.0～9.1
計測震度	5強～7	5弱～6強	5弱～6弱	4～5強	5弱～6弱	5強～6弱
全壊＋半壊(棟)	約27万7千	約13万5千	約1万4千	約2千	約2万6千	約29万6千
死者数	約8千5百人	約1千4百人	100人未満	0人	100人未満	約12万人

危機管理室

● 東成区の被害想定

項目		被害想定	被害割合	
上町断層帯 地震	建物被害	全壊棟数(棟)	9,870	44.8%
		半壊棟数(棟)	4,791	21.7%
		全半壊棟数(棟)	14,661	66.5%
	人的被害	死者数(人)	348	0.4%
南海トラフ巨大地震	建物被害	全壊棟数(棟)	2,847	12.4%
		半壊棟数(棟)	7,046	30.8%
		全半壊棟数(棟)	9,893	43.2%
	人的被害	死者数(人)	17	0.0%

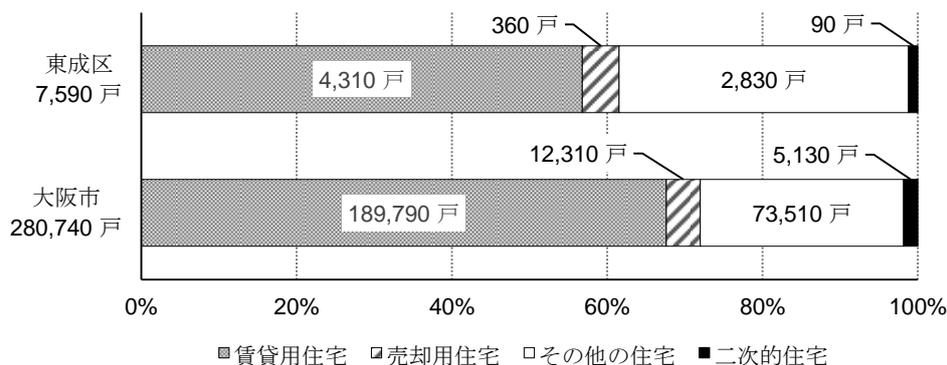
危機管理室

基礎データ(平成27年)

- ・ 上町断層地震(平成18年度想定) 建物棟数 22,043 棟、人口 80,806 人
- ・ 南海トラフ巨大地震(平成25年度想定) 建物棟数 22,879 棟、人口 80,231 人

(9) 空家に関するデータ

● 空家発生状況（建物用途別）



- ・その他の住宅：転勤や入院のため、居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えのために取り壊すこととなっている住宅など
- ・二次的住宅：別荘など、ふだんは住んでおらず、たまに寝泊りしている人がいる住宅など

「平成 25 年土地・住宅データ調査」

東成区の平成 25 年の住宅の空き家数は 7,590 戸、空き家率は 15.8%と大阪市平均 17.2%と比べると低い水準にあるものの、全国平均 13.5% を大きく上回っています。

特に、適正な管理がなされずに空家等となる可能性が高い「その他の住宅」が 2,830 戸あり、空家総数に占める割合は 37.2%と、市平均の 26.2%と比べると高い水準にあります。

● 東成区内での空家発生状況（腐朽・破損の有）

	空家数	割合
空家総数	7,590 戸	100.0 %
腐朽・破損あり	1,390 戸	18.3 %
賃貸用住宅	750 戸	9.9 %
売却用住宅	20 戸	0.3 %
その他の住宅	610 戸	8.0 %
二次的住宅	10 戸	0.1 %
腐朽・破損なし	6,200 戸	81.7 %
賃貸用住宅	3,560 戸	46.9 %
売却用住宅	340 戸	4.5 %
その他の住宅	2,220 戸	29.2 %
二次的住宅	80 戸	1.1 %

「平成 25 年土地・住宅データ調査」

東成区における、空家のうち老朽化（腐朽・破損あり）している住宅の割合は、18.3%となっています。

特に、「その他の住宅」の約 5 戸に 1 戸（21.6%）が老朽化しており、全空家における老朽化の状況（18.3%）と比較しても高い水準にあります。

